

事業概要

モデル事業名	富田林寺内町と農村が連携した6次産業化による郊外市街地・農村の活性化
分類	■一般枠 □震災対応案件
事業実施主体名	農と食と観光まちづくり推進協議会
実施期間	平成23年11月10日～平成24年3月31日
支援額	2,999,099 円
マルチステークホルダー（会議体）の取組状況	NPO法人 観光力推進ネットワーク・関西 NPO法人 食と農の研究所 大阪府富田林土木事務所 OSAKA旅めがね 大阪府南河内農と緑の総合事務所 富田林市 富田林市観光協会 富田林市自然農法根っこの会 富田林市4Hクラブ
目的・趣旨	事業推進体制として、富田林寺内町と背後に広がる農村で活動する組織・団体で構成する『協議体』を設置し、第1次産業の資源を活用した農村の取り組みと、歴史都市の文化資源を活かした寺内町の取り組みを融合した持続可能な地域づくりをツーリズムによる6次産業化で実現する「新たな公共」によるマネジメントモデルを実践します。
事業内容	<p>1. “農” の取り組み：商品開発と都市交流の促進によるマーケット開発</p> <p>(1)地域資源を活かした商品開発（既存商品のデザインアップも含む）</p> <p>①商品化プロデュース：商品開発、パッケージデザイン</p> <p>②寺内町を背景としたブランドづくり</p> <p>(2)寺内町の集客を活かした発信・PR</p> <p>①ファーマーズマーケット（四季収穫祭）・カフェの開催</p> <p>②地産商品によるガーデンランチ</p> <p>③直売所出店、体験農園、販路拡大</p> <p>(3)指導管理サポート・販路付き農園の提供</p> <p>①貸農地における農産物づくりの指導・管理のサポート</p> <p>②貸農地の収穫物を寺内町内の直売所で販売</p> <p>2. “まち” の取り組み：ツアープログラムの開発による連携・集客・体験・発信（まちまるごとアンテナショップ、まち歩きと食体験）</p> <p>(1)ツアープログラムの企画・商品化</p> <p>①街並み、暮らし、地産地消型産業の発掘・育成</p>

②地域コーディネータの養成

③ツアー企画

- ・ストーリーづくり（食と農体験ツーリズム等）
- ・オンリーワンのツアーづくり

（寺内町と自然・農の組合せ、もてなしの空間づくり）

④ツアーガイド養成

⑤ツアー運営（販売・受付・サービス提供等）

⑥ツアーのプロモーション【メルマガ、HP、ブックレット等】

(2)企画・調整・運営・プロモーション

①食と農の商品開発、ブランド化

②ファーマーズマーケット・カフェの企画・発信・開催

③ツアーの企画・販売・発信・実施

④寺内町まちづくり団体と農家等との連携コーディネート

3. 事業継続に向けての推進体制の充実

①商品開発・加工・ブランド化に至る企業ネットワークを構築するとともに、イベント・着地型ツアーづくりの人材（コーディネーター、ツアーガイド）を育成し、地域が主体となって継続的に取り組める体制を整えます。

②商品開発、着地型観光により地域産業を興すため、その受益者から協賛金を徴収する等の仕組みづくりを検討するとともに、市民が理解しやすい財務報告を広く公開する仕組みを整えます。

（事業計画書を添付資料により示します）